

2025 年度 2 教科型全学部統一入試 E 方式
2 教科型グローバル教育プログラム統一入試 G 方式
5 科目型国公立併願アシスト入試 P 方式

英語 出題意図

問題構成

大問Ⅰから大問Ⅵまでの問題構成で、解答はすべて選択式です。大問Ⅰは長文の空所部分に適切な語句を補う問題、大問Ⅱは口語的な英語の長文の空所部分に適切な文もしくは句を補う問題とその内容の理解を問う問題です。大問Ⅲは日常で使われる英語文の理解力を問う問題です。大問Ⅳから大問Ⅵまでは長文読解問題で、このうち大問Ⅳは英問英答の問題、大問Ⅴおよび大問Ⅵは日本語による問いですが解答は日本語・英語が入り交じったものです。

出題意図

大問Ⅰの空所補充問題では、語彙力および連語関係の理解を測るのが目的です。大問Ⅱは会話を完成させる、もしくはその内容の理解を試す問題ですが、会話を完成させることで、空所部分とその前後のつながりの流れをきちんと把握できているかを確認しています。と同時に、必ずしも説明的ではない会話文を読んで、その内容をしっかりと理解できているかも試すことが狙いです。大問Ⅲでは、店頭告知文、個人間の e メール、公共施設などでのアナウンスといったごく短い、日常で目にするような英語の文章の読解力を試すことで、フォーマルな英語とインフォーマルな英語に対してどの程度慣れ親しんでいるかを確認しています。残りの 3 題の長文問題は、英文読解力を問うものです。大問Ⅳは英問英答なので、長文そのものはもちろんのこと、設問と選択肢の文の理解も試されるため、セクション全体にわたる広範な理解が問われています。大問Ⅴと大問Ⅵについては、解答選択肢の日本語が時にヒントになることもあります。いわゆる「引っかけ」ための解答が準備されていることもあるので、やはり長文の正

確な読解力が求められます。いずれの長文問題も、要点と同時に特定の情報についてきちんと理解しているか、そして推論を働かせ、明示的に書かれていないことを把握できるかを、物語・説明的な文章・書き手の意見が全面的に押し出されたエッセーのようなさまざまな種類の英語を題材とすることで、多角的に試すものです。

学習アドバイス

大問Ⅰは適切な単語を選ばせる問題ですが、動詞との組み合わせとして適切な品詞を問うものから、名詞や形容詞を使った適切な連語関係を問うものなど、多岐にわたります。このため、高校で学んだ基本的な英文法の知識と語彙力が必須です。大問Ⅱでは会話の流れをきちんと把握する必要があるため、普段から、たとえば英語のディスコースマーカーのような口語的な表現に習熟し、会話する能力を鍛えておくことが重要です。大問Ⅲに関しては、フォーマルとインフォーマルな英語表現の両方に慣れ親しんでおく必要があります。案内文やアナウンスメントのような素っ気ない英語から、親しい間で交わされるeメールが題材となるため、どのような場面でどのような表現が使われるかを意識することが大切です。大問Ⅳから大問Ⅵまでの長文問題については、さまざまな種類の英語長文が題材となり、そのような文章の要点をつかむと同時に問われている特定の情報をしっかりと理解することが要求されます。このため、普段からいろいろな種類の長い英語の文章を読み、その内容を要約できるようにすること、そしてどのような特定の情報が述べられているかをきちんと把握したうえで、それらが文章全体の主旨とどう関係しているのかをきちんと整理して、理解するよう心がけるとよいでしょう。また、書き手が言わんとする内容を汲み取ることができるように、推論を働かせながら読むことを意識してください。